

企業紹介

大地伝心。

人と大地のよりよい関係を結ぶ橋渡し役として



Earth Communication

株式会社 村尾技建

代表取締役社長 村尾 治祐
〒950-0948 新潟市中央区女池南2丁目4番17号
TEL 025-284-6100 FAX 025-283-0368
http://www.muraogiken.co.jp

業 種：地質調査業
資 本 金：5,515万円
事業内容：基礎地盤調査、斜面災害調査、土地地質調査
土壌・地下水汚染調査、建設環境調査

地盤に関するあらゆるサービスを提供することで、地域社会の発展と人々の安全・安心な暮らし創りに貢献している(株)村尾技建。災害対応力No.1を目指し、自然災害への対応力の高い地域を創るため、その一助となるべく、日々技術の研鑽に努めている。

被災地の復興支援のため東北営業所を開設

同社は、昭和30年に富山市に本社がある村尾建設(株) (現・(株)村尾地研) の新潟営業所として開設。当初は、測量中心の業務であったが、徐々に地質調査と付随する設計業務(軟弱地盤の解析、地滑り・崖崩れの対策)中心の業態へ変わっていった。業容拡大に伴い、昭和50年に本社から独立し、社名も(株)村尾技建に変更した。

県内各地(上越、長岡、佐渡)に営業所を持つほか、東日本大震災後、復興関係の工事に携わっていた関係で、平成24年宮城県石巻市に東北事務所を開設。同事務所は営業目的よりも、現地の人を採用するなど復興支援の意味合いが強い。新潟県も近年、地震や水害など大きな災害が発生したが、その時の経験を活かして被災地復興に貢献できるように、常に態勢を整えている。



▲災害対応に力を入れる村尾社長



▲新潟市内にある本社

災害対応が社会に対する最も重要な使命

同社は経営方針に「災害対応力でNo.1になろう」を掲げ、災害への対応が社会に対する最も重要とすべき使命と位置付けている。これは、中越地震の時に村尾社長が経験したことを教訓としたものである。地震発生後、地滑り・崖崩れの危険がある数百カ所の点検箇所を社長自身も調査する中、いち早く現場を見て対策や設計を実施した。その結果を次の工程業者に1日でも早く渡すことで、復旧が早まっていくと強く感じたという。災害情報が入った時にどれだけ早く出勤できるか、また現場を見てから判断するスピードが重要と考え、災害対応力の強化に取り組んでいる。



▲中越地震の被害現場の調査風景

社員1人1人を技術のプロとして養成

同社の技術力は、様々な有資格者が支えている。国家資格である技術士のほか、全国で年に十数名しか合格しない応用地形判読士も在籍している。専門知識のほか、現場を経験させることで技術力を身につけさせ、社員1人1人を技術のプロとして活躍できるよう養成している。

近年の大規模な災害発生で、同社の技術に対するニーズが高まる中、これからも同社の基本理念である「仕事を通じて自らを高め社会に貢献する」を実践していくことで、人々の安全・安心な暮らしを実現するべく努めていく。

【主な有資格者数】

		資 格 名	人数
博士	(理学)		1人
技術士 (国家資格)	総合技術 管理部門	建設-土質及び基礎	1人
		建設-河川、砂防及び海岸・海洋	2人
		建設-道路	1人
	建設部門	土質及び基礎	1人
		河川、砂防及び海岸・海洋	2人
		道路	2人
	応用理学部門	地質	4人
農業部門	農業土木	1人	
森林部門	森林土木	2人	
応用地形判読士		1人	
RCCM*		土質及び基礎	5人
		河川、砂防及び海岸・海洋	2人
		道路	1人
		地質	2人

*土木に関わる調査・計画・設計業務の管理・監査技術者の資格

(H25.4.1現在)